

私たちの手で **生物多様性** の恵みを未来に！
いろいろな生きものの
豊かな命のつながり

みどりのトラスト



「緑の募金」で大阪のみどりをもっと豊かに！



- 【コラム】チョウたちとまもる里山―三草山ゼフィルスの森―〈前編〉
- 【特集】三草山ゼフィルスの森美しいチョウが舞い、多様な花が咲く里山をふたたび
- 【活動通信】和泉葛城山の天然記念物 未来へつなぎたい ブナ林は今
- 活動団体紹介・緑の募金はこのように使われています 他

102

2020年 8月

チョウたちと

まもる里山

三草山ゼフィルスの森

前編

大阪府立大学名誉教授

石井 実

ゼフィルスとは初夏に成虫が出現する樹上性のシジミチョウ類の愛称。三草山の里山林には日本産25種のゼフィルスのうち、この山を分布の東限とするヒロオビミドリシジミをはじめ10種が生息するなど、豊かなチョウ相が知られています。チョウ相の豊かさは豊かな植生に支えられています。チョウ類を生物指標として植生管理を進める「三草山ゼフィルスの森」(以下「ゼフィルスの森」)の取り組みを紹介します。



ゼフィルスの森が開設された時代

ゼフィルスの森は1992年4月に開設されました。これは環境庁(現環境省)が「日本の絶滅のおそれのある野生生物―レッドデータブック―」の初版を発行した翌年にあたります。さらにその2年前の1989年には、日本自然保護協会などが植物版のレッドデータブック「我が国における保護上重要な植物種の現状」を、日本鱗翅学会が「日本産蝶類の衰亡と保護・第1集」を、それぞれ発行しています。これらの出版物は、フジバカマやサギソウ、オオタカ、タガメ、クロシジミなど、かつての身近な動植物の衰退を報じていました。ゼフィルスの森は、1960年代

の高度経済成長期を経て、里山の風景とともにそこに生息する野生生物の姿が遠ざかりつつある時代に開設されたのです。

三草山はチョウの宝庫

三草山のある北摂地方はチョウ相の豊かな地域で、日本産土着チョウ類約240種のうち約90種が知られています(①)。大阪府から記録のある土着チョウ類が約100種なので、この地域ではそのほとんどの種を見ることができるといふこととなります。ゼフィルスの森では、筆者らの研究室が継続的に調査を行い、これまでに66種のチョウを確認していますが、そのうち13種は大阪府の絶滅危惧種です。

では、ゼフィルスの森にはどんなチョウが生息しているのでしょうか。まずはゼフィルスの森が発足した1992年の調査結果を紹介します。この時は、ゼフィルスの森の登り口を起点に約1.6kmのルートを5〜10月に毎月1回、晴天の日に卒業研究の学生と歩いて目撃したチョウの種と個体数を記録しました(②)。この調査では合計49種607個体のチョウが記録され、ゼフィルスの森のチョウ相の豊かさを実感することができました(表1)。

〈表1〉ゼフィルスの森の主なチョウ類(上位10種)・1992年の調査から(②)

順位	種名	個体数	幼虫の食草	成虫の食物	化性*	分布型**
1	ヒカゲチョウ	140	ササ類など	樹液など	多化性	日華区系
2	サトキマダラヒカゲ	52	ササ類など	樹液など	多化性	日華区系
3	クロヒカゲ	47	ササ類など	樹液など	多化性	日華区系
4	コムスジ	39	ハギ・フジなど	花蜜	多化性	北方系
5	ウラナミアカシジミ★	32	コナラ・クヌギ	花蜜など	1化性	日華区系
6	オオチャバネセセリ★	30	ササ類など	花蜜	多化性	日華区系
7	ミズイロオナガシジミ	29	コナラ・クヌギ	花蜜など	1化性	日華区系
8	メスグロヒョウモン	23	スミレ類	花蜜	1化性	日華区系
9	イチモンジチョウ	22	スイカズラ	花蜜	多化性	北方系
10	ヒロオビミドリシジミ★	19	ナラガシワ	花蜜など	1化性	日華区系

* 1年に何回世代を繰り返すかを表す。1化性:1年1世代、多化性:1年に2世代以上。

**北方系:ユーラシア大陸の北側に分布。日華区系:本文参照。★大阪府の絶滅危惧種

(写真)三草山と長谷の棚田

ゼフィルスの森の代表的なチョウ類

上位3種はヒカゲチョウ、サトキマダラヒカゲ、クロヒカゲで、この3種だけで全個体数の約4割を占めました。

ゼフィルスの森とはいつものもの、優占種から見ると「ヒカゲチョウの森」と言った方がよいと思えるくらいでした。ヒカゲチョウ類は、幼虫がネザサの葉を食べ、成虫が樹液に



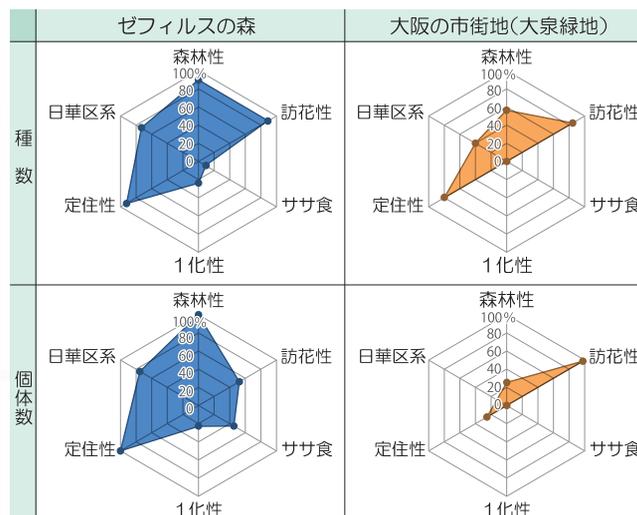
集まる里山林を代表するグループのひとつです。しかも、ヒカゲチョウとサトキマダラヒカゲは日本固有種ですから、地味ですが、大切にすべきチョウ類と言えます。一方、ゼフィルス類は、多い方からウラナミアカシジミ、ミスイロオナガシジミ、ヒロオビミドリシジミ、ウラジロミドリシジミ、アカシジミ、オオミドリシジミ、ウラゴマダラシジミの7種が確認され、全個体数の16%を占めました。年1回の発生(1化性)で樹上性であることを考えると、この森で記録のあるゼフィルス類10種のうち7種が確認されたことはうれしい限りでした。



もうひとつ注目すべきグループはヒョウモンチョウ類です。個体数は少ないですが、メスグロヒョウモン、ミドリヒョウモン、オオウラギンシジミヒョウモンなど5種が記録されました。この仲間は幼虫の食草がスミレ類で、成

虫はオカトラノオやクリなどの花から吸蜜するなど、明るい里山林の林縁(林の周囲)を好みます。林縁性・訪花性の種では、これ以外にコミスジやオオチャバネセセリ、イチモンジチョウが多く見られました。そして、夏には少ないながら日本の国蝶で絶滅危惧種のオオムラサキの雄姿も見ることができました。

ゼフィルスの森のチョウ類を大阪府内の市街地のものと比較すると、幼虫がササ類を食べる種や成虫が樹液に依存する種、1化性の種、定住性の種(成虫の移動記録がない種)が多いのが特徴だということがわかりました(図1、③)。また、この森には日本固有種を含め、東アジアの温帯地域にのみ分布する種(日華区系の種)が多く生息していることもわかりました。すなわち、ゼフィルスの森は日本的なチョウの宝庫としてとても貴重だということです。



〈図1〉ゼフィルスの森と大阪の市街地のチョウ類群集の比較(②③)。ゼフィルスの森では、市街地と比べて、森林性、1化性、定住性、日華区系、ササ食のチョウが多く、訪花性のものが少ないことがわかる。これは特に個体数で比較すると顕著である。

参考文献 ①大阪府の蝶編集委員会(2005)大阪府の蝶・大阪昆虫同好会、石井実ほか(1995)環動昆7:134-146。③石井実ほか(1991)環動昆4:183-195。



石井 実 (いしい みのる)
 横浜市生まれ。大阪府立環境農林水産総合研究所理事長。理学博士。専門は動物生態学、昆虫学、保全生物学。とくに里山のチョウとその生息場所の保全に関する調査・研究や活動に力を入れている。著書は「里山の自然をまもる」「チョウの庭」「ボルネオの生きものたち」熱帯林にその生活を追って「チョウの分布拡大」など多数。
 中央環境審議会委員、関西自然保護機構会長、日本自然保護協会評議員、大阪みどりのトラスト協会会長などを務める。

みくさやま

三草山

ゼフィルスの森

事業マネージャー 飯野 博道



ヒロオミドリシジミが棲む里山

三草山(標高564m)は大阪府の北の端にある能勢町と、兵庫県猪名川町の府県境にあり、古書に「美奴売山(みぬめやま)」として「秀麗なる神体山く峰高く白衣をまとうが如き美山」とその美しさや眺望をたたえる記述が残されている山です。人々はかつてこの山を薪炭林として活用していました。1970年代から燃料革命によって薪や炭が使用されなくなり、放置されて藪化が進んでいました。1992年4月、地元能勢町からの要望もあり、ゼフィルスというチョウが生息することや、その生息環境の現状を知ってもらい、かつての里山管理を行うことでゼフィルスの森をよみがえらせたい、と広く協力を呼びかけました。そして、ゼフィルスの森の立ち木を買い取り、土地を借り受けて里山の豊かな自然を復元するトラスト運動をスタートさせました。

1992年9月に大阪府が、山の南東部に位置するナラガシワやクヌギ・コナラなど落葉広葉樹を主体とした約14.5haのエリアを「三草山ゼフィルスの森」として緑地環境保全地域に指定しました。ゼフィルスとは「森の宝石」とも呼ばれるミドリシジミ類の蝶の総称です。中でもヒロオミドリシジミのオスは青緑色にキラキラ輝く翅が魅力

で、大阪府内では三草山が唯一の生息地となっています。

生物の多様性を保全するために

ゼフィルスの棲む環境を守るために、大きくなりすぎた木を伐ったり密集し藪化したササを刈り取ったりと人の手で行うことができる活動を行ってきました。伐採した切株から芽を出し成長させる萌芽更新をとりいれ、昔の里山のように資源としての木を絶やすことのないよう管理できるようにしました。そうすることでさまざまな高さの木ができ、林内も明るくなり、ゼフィルスをはじめとする多くの生きものにとって棲みやすい環境をつくることができます。また明るくなった林内にゼフィルスの食草となる木を植えた



能勢みどりすとクラブによる草刈り

り、ドングリを拾い植栽するための苗木を育てたりもしています。プロでなければできない危険な作業は委託することもありますが、多くの保全活動は能勢みどりすとクラブを中心にを行っています。また、森をパトロールする巡回活動を地元団体の城好会にお願いしています。

ゼフィルスの生息状況を知るために、さまざまな調査を行っています。日本鱗翅学会や大阪府立大学の協力のもと、6月には樹上にいる成虫の調査、冬には管理で伐採した木の枝先

な花が咲く里山をふたたび

三草山に咲く ちよつと風変わりな植物

上野 早愛佳

ゼフィルスの森には多くの動物が棲んでいます。それを支えている植物もまたたくさんいます。そのなかでちよつと変わったものを紹介しましょう。

ランの仲間には菌類と共生することが有名ですが、中でもキンランはとても個性的です。

6月頃、広葉樹林の中で鮮やかな黄色い花を咲かせるキンランは、樹木の根と共生している菌がつくった菌根から栄養分を得ています。ややこしいですが、菌がつくった栄養分を菌を介して受け取っているように、特定の樹木と菌がセットでないと生きられない植物です。下草刈りをしたら突然出てきた！というように条件が揃えばひょろひょろと顔を出



キンラン

め人工栽培は難しく、

環境省の絶滅危惧種にも指定されていて、私たちもめったにお目にかかれませんが、

次は姿形も変な植物、ギンリョウソウです。見た目は白くつすから透けていて「え、きのこっ」と思っほと植物っぽくありませんが、ツツシ科の植物です。



大阪府立大学による植生調査

などにある卵の調査を行ってきた。直接的なゼフィルスの調査だけでなく、まわりを取り囲む環境を知るため、植生の調査もしています。普段はササに覆われて見えない場所に意外な植物があったり、草刈りをした場所から違う植物が生えてきたりと、活動開始から30年近くたってまだまだたくさん発見があります。

このゼフィルスの森のことを多くの人に知っていただくために、毎年6月の観察会はもちろん、能勢町でのシンポジウムや地元学校での授業、三草山でのハイキングなどいろいろなイベントを開催してきました。今年の観察会は残念ながら中止となりましたが、一部のメンバーで観察しました。ゼフィルスは今年も元気に飛び交い、4種類を確認しました。この時の様子を「エア観察会」として、フェイスブックに動画で公開しています。ぜひ、ご覧ください。

ゼフィルスの森をもっと知るために

ゼフィルスの森を生物多様性豊かな場所とするために、チョウ類や植物以外にも様々な分野で調査研究を行い、いろいろな角度からゼフィルスの森をみてほしいと考えました。その結果、新しい発見や今問題になっているナラ枯れやシカ害などの対策を見出すことができるかもしれません。多くのデータを集め、管理の方策を検討するために、「三草山調査研究助成制度」を今年度から試行的にスタートさせました。活動開始から30年経った三草山について、どんな発見があるのか楽しみにしています。

今また、ゼフィルスの森はピンチ

近年、ゼフィルスの森は様々な問題に見舞われています。日本各地で話題になっているニホンシカによる食害で、萌芽更新で出た若い芽や植栽した木、実生で育った若木も食べられてしまい、林床から私たちの身長くらいの高さまでの植物の種類が減ってきています。それを防ぐための防鹿柵を設置していますが、すべてのエリアを覆うことはできません。また2015年頃からナラ枯れが発生し、大径木が次々に立ったまま枯れてしまい、多くのゼフィルスの食草でもあるナラ類に蔓延しました。そして一昨年の7月には豪雨によりエリアの西側で大規模な山腹崩壊が発生しました。ゼフィルスの森の一部は荒地になってしまい、もとの林に戻るまでは時間がかかりそうです。このような状況ですが、当協会は、三草山の貴重な生きものたちを守るため、関係者と協力し、知恵を出し合い、より充実した保全活動を展開していきたいと考えています。30年という長きにわたる多くの人の関わっていただいたことで、今のゼフィルスの森があります。これからも皆さまの協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

協会へのご寄付は、下記の口座にて承っております。

ゆうちょ銀行
〇九九店(ゼロキューキュー店)
(当座) 〇140157
(記号番号:00910-5-140157)

〈加入者名〉公益財団法人
大阪みどりのトラスト協会

郵便局の払込取扱票に、お名前・ご連絡先を明記の上、上記口座へお願いいたします。

～随時受付中～
活動への参加申込みは、P7【能勢みどりすとクラブ】まで、お気軽にご連絡ください。お待ちしております♪

美しいチョウが舞い、多様

植物体が白いので光合成はせず、これも樹木と共生する菌から栄養分をもらっています。春先から夏の花期ですが、時期が過ぎるとつぶれるように種を地面に落とします。そしてとても珍しいことに、地面にいる虫たち、ゴキブリやカマドワムマに種を運んでもらっているそうです。林内の暗い場所でも生活できるため、やっぱり見つけにくいのです。



ギンリョウソウ

植物は腐生植物と呼ばれます。そして秋の三草山の麓では、植物から直接栄養をもらって生活している寄生植物のナンバンギセルがみられます。名前のとおりキセルのような花の形をしていて、葉はとても小さくてほとんど地上に出ないないので、地面から紫色のキセルがよぎって出ているように、植物に見えませんが、ハマウツボ科の植物です。ススキの根に寄生し、葉緑素を持たないので完全にススキの栄養に依存しています。これはススキの大きな株の根元を探せばいいので、わりと簡単に見つかります。

三草山に来られる際は、少し足下に注目して歩いてみてはいかがでしょうか。ちょっと変わったものに出会えるかもしれません。



ナンバンギセル

和泉葛城山の天然記念物

未来へつなぎたい ブナ林は今

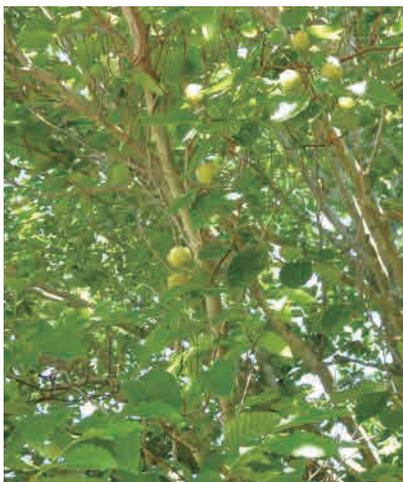
岸和田・貝塚両市にまたがる和泉葛城山のブナ林は、全国でも3か所しかない国の天然記念物に指定されたブナ林です（指定区域は約8ha）。日本のブナ林の南限圏に生き続ける、大阪都心から1時間ほどで行くことができる希少な自然空間です。しかし、近年は実を結ぶ数が少なく、実を結んでも虫食いなどで健全な種子の割合が低いため、「子どもたち」とも言える新しい稚樹が育っていかず、衰退が進んでいます。ブナの実は、結実の周期が長く、年によって豊凶があり、直近の大豊作は30年近くも前、1993年にさかのぼります。

毎年、豊作を祈って見守ってきましたが、なかなかその時はやってきませんでした。でも今年は、春から初夏にかけて専門家が開花・結実などを調査した結果、「大豊作レベル」との予測が報告されました。久々のチャンス到来！未来へのブナ林保護につなぐ「種子採取」活動などの準備を進めています。

豊作の予測しつかり実って！

秋も深まるころ、実が大きく硬いものや虫食いの無いものを拾い集めるなどし、苗畑やポットで育苗。元気に育てて植えていきます。93年にも、種子採りから育苗、その後の植樹まで、多くの方々に協力をいただきました。

さあ、種子が大きく育つ8月、2020年夏。大阪府内に生き続けてきたブナたちに、次世代への「命」がつながりますように！



種子が結実したブナ
(20.5月撮影・田中正視氏提供)

植樹ブナは最高13.5mに

天然記念物指定地の周辺ゾーン約50haでは、昨年度、これまでに植樹した4千本以上のブナが、どのように成長しているのか調査を行いました。96年から18年にかけて植えた47区画のブナの生育本数を数え、区画ごとに樹高の最高・最低を計測しました。樹高の最高は99年植樹の13.5m、最高の平均は7.32m。最低は2000年植樹の1.0m、平均は2.84mです。

これらは大豊作翌年94年発芽の27歳。なかなか大きくなれない若木もあります。ブナの成長はゆっくりしており、信州の天然のブナでは「約20年で約6m」という報告もあります。この調査では生育状況と環境などとの関係を探り、今後の保護増殖に活かしていきます。(岡秀郎)



見上げるほど成長した植樹ブナ
ポール長さ:8m(20.6月撮影)

【植栽年ごとの樹高】(m)

植栽年	最高	最低
1996	8.5	3.1
1997	8.0	1.8
1998	10.5	1.8
1999	13.5	2.0
2000	10.0	1.0
2001	8.0	2.5
2002	—	—
2006	7.0	2.2
2011	6.4	2.4
2012	7.0	2.2
2015	5.8	2.4
2017	1.5	0.5
2018	6.8	2.2

【国の天然記念物のブナ林】

名称	特長
和泉葛城山ブナ林 (岸和田市・貝塚市)	低標高で分布の南限圏に位置する太平洋型ブナ林。代表的原始林で稀有な森林植物相。
歌オブナ自生北限地帯 (北海道・黒松内町)	寒さを好むブナもこのあたりが自生地の限界といわれている。国有林に広がるブナ林。
比婆山のブナ純林 (広島県庄原市)	太平洋型と日本海型両方の特徴を持つ美林。代表的な原始林で稀有な森林植物相。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応のため、2月に開催を延期したシンポジウムや、例年開催していますハイキングの情報は、決まり次第協会ホームページにてお知らせします。

8月23日

信太山丘陵・惣ヶ池湿地 (和泉市)

湿地のいきもの観察会

〈信太の森FANクラブ〉

全国的にも稀な、市街地に囲まれながらも生物多様性に富む都会のオアシス信太の森。

二ホンアカガエルやトンボ、コバノワレモコウやサギソウなど、湿地特有のいきものや植物たちを探しに出かけてみませんか。



【日時】 8月23日(日) 10時15分〜14時(予定)

【集合】 惣ヶ池公園・鶴山台四丁目バス停下車、バス進行方向に約150m、信号角

【アクセス】 JR阪和線「北信太」駅より徒歩30分

もしくは、「北信太」駅より徒歩5分の南海バス「北信太駅筋」から「鶴山台4丁目」バス停下車

バス時刻：10時4分をご利用ください。

(場所の詳細につきましてはHPの活動地紹介ページ地図情報をご覧ください。)

【参加費】 無料

【持ち物】 弁当、水筒、タオル、日除け帽、活動しやすく多少汚れてもよい服装

【専用申込みフォーム】

<https://bit.ly/ogt200823>



タガメの田づくり 〈能勢みどりすとクラブ〉

(能勢町)

三草山の麓にある遊休農地を再生させ、たくさんのおいしいものが訪れるようになった棚田で、自然の恵みを満喫しましょう。

① 9月20日 秋の収穫

〜能勢の棚田で稲刈り〜

昔ながらの手刈りで収穫し、稲木に天日干しして、自然の風と太陽の光で乾燥させます。



② 12月6日 里の冬支度

〜餅つきとしめ縄作り〜

棚田で育てたお米でお餅をつき、しめ縄をつくって一年を締めくくります。



【日時】 ① 9月20日(日) 10時〜15時(予定)

② 12月6日(日) 10時〜14時(予定)

【集合】 能勢慈眼寺(大阪府豊能郡能勢町神山286) 前に9時40分又は、現地(神山のビールハウス前)に10時

【参加費】 各回 会員500円 一般1500円

(小・中学生100円)

【定員】 各回30名

【持ち物】 弁当、水筒、タオル、軍手、雨具(合羽)、活動しやすい服装と靴 ※稲刈りには別途、日除け帽子・汚れてもいい服装(着替え)・長靴(お子さま用も)

※どちらか1日でも、お申し込みいただけます。

※今年度は風食の用意はございません。

※ついたお餅は持ち帰り、加熱してお召し上がりください。

【専用申込みフォーム】

<https://bit.ly/ogt20tagame>



※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からイベントの内容を急遽変更する場合、または中止する場合があります。
 ※ 当日は、検温や名簿記入など、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご協力をお願いします。

【申込み】 上記の専用申込みフォームからお申し込みください。下記のTEL、FAX、E-mail からもお申し込みいただけます。
 「イベント名」「氏名(メール・FAXの場合はフリガナ)」「電話番号」、会員の方は「会員番号」をお知らせください。

TEL 06-6614-6688 火曜日〜土曜日(祝日除く) 10:00〜18:00 FAX 06-6614-6689 E-mail midori@ogtrust.jp

少雨決行・荒天中止 ※ 荒天等で中止の場合、当日朝 7:00から ☎06-6614-6688 でアナウンスが流れます。

※ キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いします。前日、当日のご連絡は、携帯 090-2590-3175 まで(メール連絡は不可)

※ 事前にお申し込みのない方のご参加はご遠慮願います。※ 中学生以下は保護者の同伴をお願いいたします。※ 原則未就学児は参加不可となりますが、保護者の管理下であればご参加いただけます。但し、スタッフによる別途ご案内・補助等はいたしかねますので、保護者の監督・安全管理をお願いいたします。

能勢エリア

のせ 能勢みどりすとクラブ

【①三草山ゼフィルスの森(能勢町)】

大阪府のてっぺん能勢町にある三草山。その中で、森の宝石と呼ばれるゼフィルス(ミドリシジミ類)を中心に保全活動を行っています。ゼフィルスの食草となるどんぐりの木を伐採して、切株から出る芽を育てる萌芽更新という昔ながらの手法で森を管理しています。またササを刈る部分と刈らない部分をつくるなど、さまざまな生きものに適した環境づくりを心掛けています。とても歩きやすい山なのでぜひお立ち寄りください。

【②タガメの田づくり(能勢町)】

三草山ゼフィルスの森のふもとの遊休農地で、里山の生物多様性に欠かせない稲作水系の環境の復活を目指し、地元農家さんや大阪府立大学、関西大学第一中学校の協力を得ながら田づくりを行っています。田んぼにはトンボなどの水生の昆虫や両生類、また周辺の林にはカブトムシやオオムラサキなど四季を通じてたくさんの生きものが訪れます。イノシシやシカも多く、田んぼを守るために日々格闘していますが、生きものとの出会いと美味しい収穫物のおかげで、楽しく活動しています。



【活動日】
毎月第1水曜日・第3日曜日

【連絡先】
担当者名：上野 早恵佳
電話番号：090-8886-0837
E-mail：forestgreentreefrog0828@outlook.jp



<E-mail>

大阪府内にある、自然環境保全・生物多様性、里山保全に取り組む活動団体を紹介します。

活動に参加ご希望の方は、各連絡先へ詳細をお問合せください。



しおう 地黄の森FANクラブ

【③地黄湿地(能勢町)】

地黄湿地は面積1haほどの貧栄養の滲水(しんすい)湿地です。日本一小さなハッチョウトンボやモリアオガエル、サギソウ、トキソウなど湿地特有の多様な動植物が見られ、大阪府緑地環境保全地域に指定されています。真砂土の流入等で陸地化が進む中、陸地化した区域の水環境の整備など湿地環境の回復活動を行っており、最近では、生物調査も行い湿地の生き物が戻りつつあるのを見守っています。



【活動日】
毎月第4土曜日(11月~3月は第3水曜日にも実施)

【連絡先】
担当者名：藤原 進悟
電話番号：090-3611-9368
E-mail：twilightflower666@gmail.com



<E-mail>

朗報!

地黄湿地に待望のハッチョウトンボが戻ってきました!!

地黄湿地では、2006(平成18)年に外来生物のウシガエルの侵入が確認されて以来、ハッチョウトンボ(大阪府レッドリスト・絶滅危惧I類)の姿をみる事ができませんでした。

2015年の遺贈を資金に、3カ年にわたり、専門家のご意見をききながら、陸地化の進んだ湿地やその周辺の森林に大幅に手を加えました。また、能勢みどりすとクラブはじめ多くの方々による保全活動が継続されてきました。いつ戻ってきてもおかしくない環境が整い、今年こそは!と期待して迎えた2020年初夏、ついにその姿を確認することができました。

しかし、なんでも食べてしまうウシガエルの根絶には至っていません。また、湿地の順応的管理をたやまず続けていく必要があります。この環境を守るため、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いします。

ハッチョウトンボ
(上)♀
(下)♂

おがえりなさい♪

写真 大阪府立大学
平井規央

北 摂 エ リ ア

くるまつくり 車作里山倶楽部

【⑤車作の森(茨木市)】

安威川中流域にある茨木市車作地区の『権内広場』を基地に、里山林や果樹園の整備・保全、及びキツネノカミソリ群生地の再生のための活動など、多様な活動をしています。里山林の木材は、炭材への提供や、また設備の揃った里山センターにて毎月木工作业を行い、木工品を作成しています。作品は、市の農業祭などで展示・販売し活動資金に充てています。さらに椎茸栽培や果樹園での茗荷(みょうが)や柿など、里山の恵みも大いに楽しみです。



【活動日】

定例活動：毎月第1・3土曜日
有志活動：毎月第1・2・3火曜日
毎月第4木曜日は木工作业

【連絡先】車作里山倶楽部

担当者名：樫山 信博 (はぜやま のぶひろ)
電話番号：090-5664-4023
E-mail：5925sgmf@jcom.zaq.ne.jp



<E-mail>

(公社)大阪自然環境保全協会 うたがき 歌垣SATOYAMA楽舎

【④歌垣銀寄栗の森(能勢町)】

春に銀寄栗の苗木を植樹した後はシカの食害から苗木を守るためネットを張ります。夏から晩秋にかけて草刈りを何度もすることにより、それまではシダ類やネザサが繁茂している状況でしたがキマダラルリツバメが採蜜する植生の出現が確認されるようになりました。キマダラルリツバメと共生するアリの好む環境を残しつつ銀寄栗を育て、このチョウが生息するためのより良い環境を作るために試行錯誤しながら活動を続けています。



↑草刈り

【活動日】

毎月第3土曜日

【連絡先】歌垣 SATOYAMA 楽舎

代表者名(担当者名)：湯浅 淳子
電話番号：090-8658-3390
E-mail：accha035@gaia.eonet.ne.jp



<E-mail>

NPO 法人島本森のクラブ

【⑥島本の森(島本町)】

森林・竹林を対象に里山環境の保全や間伐材を利用した炭焼き・シイタケ栽培など、人々が憩える豊かな森づくりを楽しく、継続的に行っています。

←みなせ水源の森の倒木処理



↑「山の日」のイベントにて

【活動日】

毎月第2・第4日曜日

【連絡先】NPO 法人島本森のクラブ

代表者名(担当者名)：金山 勉 (野間 慎二)
電話番号：075-203-8708 (金山)
E-mail：t-kanayama@gaia.eonet.ne.jp

【ホームページ】

<http://morino-club.main.jp/>



<E-mail>



<HP>

げいん 外院の杜クラブ

【⑦外院の杜(箕面市)】

住宅地に隣接する地元の小中学校の「学校の杜」です。学習の場として維持するため、間伐・丸太階段づくりなどの山の手入れ、森林体験学習の支援などを行っています。



↑外院の杜で採れたシイタケやナメコのきのこ鍋大会

↑外院の杜での小学校の授業

【活動日】

毎月第3土曜日

【連絡先】外院の杜クラブ

代表者名 中家 俊治
電話番号：090-3895-9558
E-mail：nakaya-s@aurora.dti.ne.jp

【ホームページ】

<http://www.buna-21.jp/gein/>



<E-mail>



<HP>

大阪府内にある、自然環境保全・生物多様性、里山保全に取り組む活動団体を紹介します。

活動に参加ご希望の方は、各連絡先へ詳細をお問合せください。

泉州エリア



いずみの森ボランティアの会

【⑨いずみの森(泉佐野市)】

稲倉池(ダム)の周囲約30haの里山で「緑の募金の森づくり いずみの森」として、「緑の募金」運動より支援を受け活動しています。区域内にある泉佐野市青少年野外活動センターの緑地保全、及び間伐等による里山保全活動を行い、間伐材を利用しての椎茸栽培用ほだ木や薪づくり等、持続可能な森づくりを目指し活動しています。集合：JR日根野駅東口電話ボックス前に9：20、または、いずみの森集合広場に9：45。



【活動日】7月～8月は夏季休止
9月・10月：第2・3木曜日、第4土曜日
11月：第2・3木曜日、第3土曜日
12月：第1・第2木曜日、第2土曜日
【参加連絡先】大阪みどりのトラスト協会(飯野)
TEL：06-6614-6688
E-mail：midori@ogtrust.jp
【ホームページ(ブログ)】
「泉佐野市いずみの森ボランティアの会 稲倉の里」
<http://izuminomori1515.blog.fc2.com/>



<E-mail>



<HP>

しのだ NPO法人 信太の森FANクラブ

【⑧信太の森惣ヶ池湿地(和泉市)】

惣ヶ池湿地は、20年前に整備され、大阪みどりのトラスト協会が管理・保全活動を行っていましたが、6年前から信太の森FANクラブが主体となって湿地の環境保全に取り組んでいます。コバナノワレモコウ、ミゾソバの大群落があり、植物では10種、両生類2種、水生生物2種の絶滅危惧種が生息している大阪府内では最大の湿地です。昨年(公財)大阪コミュニティー財団の助成を得て木道整備を徐々に進めています。



【活動日】
奇数月：第2水曜日 偶数月：第2日曜日
【連絡先】NPO法人信太の森FANクラブ
代表者名：田丸 八郎
TEL：090-1225-9159
E-mail：tamahati@amber.plala.or.jp
【ホームページ】
<https://shinodanomori-fan.com/>
「信太の森FANクラブ 2016」で検索



<E-mail>



<HP>

株式会社NTTドコモ

【⑩堀河の森(泉南市)】

「ドコモ泉南堀河の森」は泉南市の堀河ダム上流に位置し、このダムの水源林にあります。企業のCSR活動のフィールドとして、隣接する「里山の自然学校 紀泉わいわい村」も利用し、かつての農山村の生活も学びながら、楽しく里山保全活動を行っています。

NTTドコモグループの社員とその家族、また一般の皆さまにも参加を募って、活動しています。頂上までの歩道づくりと下草刈りが主な活動内容です。



【活動日】
年に4回(不定期)(次回9月12日(土))
【参加連絡先】大阪みどりのトラスト協会(飯野)
TEL：06-6614-6688 E-mail：midori@ogtrust.jp
【ホームページ】
<https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/csr/activity/kansai/environment/forest/index.html>



<E-mail>



<HP>

大阪府内の活動団体情報を集めた サイトの立ち上げにご協力ください！

大阪府内には里山の保全活動を行っている団体がたくさんあります。平成25年度から始まった林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業」を活用したことのある団体は、これまでに延べ80団体を数えます。これに加えて、広く自然環境や森林の保全・活用などをテーマに活動している団体があります。

この度、協会のホームページのリニューアルにあわせて、これらの活動団体の情報を一元的に掲載するサイト(仮称:大阪さつやまネットワーク)を立ち上げることにしました。

このサイトを通じて、活動団体間の情報交換の機会が増え、連携が深まり、また、自然環境保全・里山保全に関心のある方々が活動を始めるきっかけになればと考えています。

〈掲載する情報内容イメージ〉

- ①里山保全活動団体の紹介
(団体のHPやSNS等のリンク)
- ②活動地マップ 活動地の位置図
- ③各団体が行うイベント・講習会などのPR
- ④トラスト協会が実施する支援のPR など

次号の会報では、詳しい内容や運営方法についてお知らせします。

多くの方が気軽に立ち寄り、活発に情報交換ができる場所を目指し、活動団体の皆様方のご意見やアイデアをお伺いしながら準備を進めたいと考えていますので、ご協力よろしくお願ひします。
(担当:飯野)

【予告】来春公開予定！ ホームページを リニューアルします。

会報誌「みどりのトラスト」は、年4回、各回約9,500部(昨年度)の発行を行ってきましたが、発行回数を見直し、来年度からは年1回の発行となります。紙資源・運搬エネルギー、印刷・発送費などのコストを削減し、より多くの皆さまへの情報発信をするため、ホームページの内容を充実させます。

- ✓どんなデバイス(パソコン、スマートフォン、タブレットなど)からも見やすくします！
- ✓知りたい情報・コンテンツを探しやすくします！
- ✓SNSなどと連携し、最新情報をいち早くお届けします！
- ✓動画の配信など、見て楽しいホームページを目指します！

里山ボランティアの会そぶら 蕎原

【⑪蕎原の森(貝塚市)】

蕎原は「そばはら」ではなく、「そぶら」と読みます。以前は文字通り蕎麦が盛んに作られており、この地区の地名となりました。蕎原の森は、貝塚市の東端の蕎原地区のほぼ中心にあり、台風の被害林の復興を目的に里山保全活動が始められました。現在は被害林の復興は一段落し、地元の要請により蕎原の森の近隣の放置林、竹害を受けた森林の整備等色々な保全活動に範囲を広げており、地域にも貢献しております。



↑「見晴台」からの雲海と藪代表



↑清らかに落ちる蕎原の滝

【活動日】

毎月第1・第2・第3・第4土曜日

【連絡先】里山ボランティアの会蕎原
代表者名: 藪(やぶ)

TEL: 090-6829-0353

E-mail: takkun@sensyu.ne.jp



〈E-mail〉

和泉葛城山いづみかつらぎさんブナ愛樹あいじゆクラブ

【⑫和泉葛城山ブナ林(岸和田市・貝塚市)】

和泉葛城山(標高858m)の山頂周辺にあるブナ林は、低標高の南限圏で自生する貴重な植物相として1923年に国の天然記念物に指定されています。ブナ愛樹クラブは、この貴重な美しいブナ林と周辺のゾーンを次世代に継承すべく、保全・育成・調査活動に取り組んでいるボランティアの団体です。自然の森や樹や花が好きで、山の中で過ごすのが大好き、そんなあなた！一緒にボランティア活動を体験してみませんか。JR東岸和田駅西広場集合9:30。

←カキノハグサ(6月中旬・大阪府絶滅危惧種)



【活動日】

(1・2月以外の毎月)

↑ブナ林の新緑(5月上旬)

第1日曜日・第3土曜日、第4木曜日

【連絡先】和泉葛城山ブナ愛樹クラブ

代表者(担当者)名: 土井雄一(山條洋浩)

TEL: 090-7103-4615(山條)

E-mail: bkcdy107@rinku.zaq.ne.jp

【ホームページ(ブログ)】和泉葛城山ブナ愛樹クラブで検索
<https://bunaaijuclub.blogspot.com/>



〈E-mail〉



〈HP〉

使われています。

緑の募金は、森林づくりや環境緑化などに活用されます。こうした活動に直接参加できない人も、緑の募金を通じて森林づくりなどに貢献することができます。

大阪オリジナル緑化バッジ



2019 秋
カツラ

2020 春
ツクシ

募金資材整備

緑の募金活動に必要な募金資材として、募金箱、緑の羽根、緑化バッジ等を購入・配布。



募金活動

街頭募金、イベント参加。



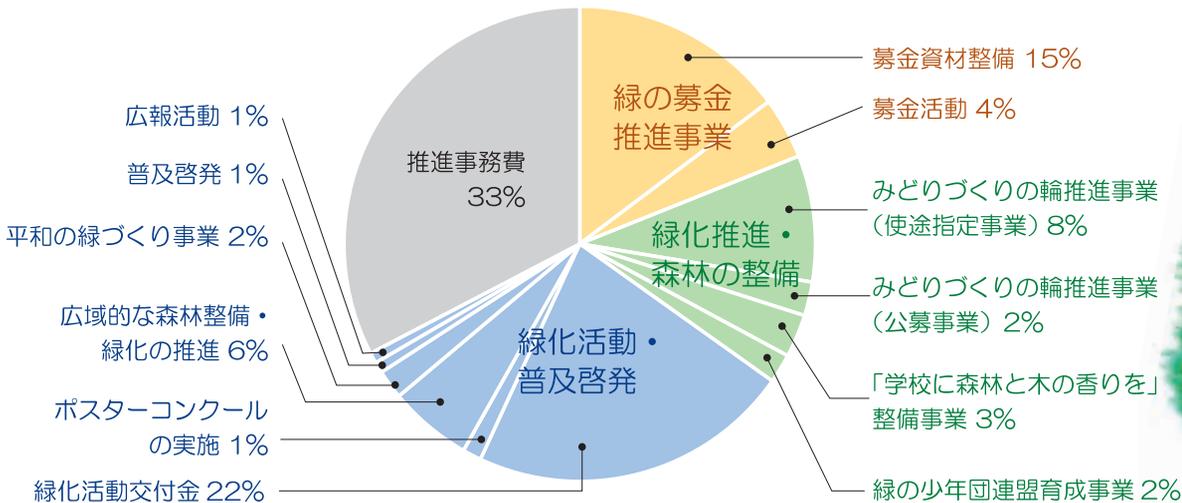
みどりづくりの輪推進事業

良好な森林や里地・里山の保全活動及び市街地の緑化活動に助成。



緑の少年団連盟育成事業

大阪府内の「緑の少年団」の育成とその活動の充実を図る支援。



広報活動

緑の募金の使い方や、取り組みについてのパネル展示。



平和の緑づくり事業

株式会社平和堂様の府内の有料レジ袋収益金による寄付を活用して、植樹と緑の教室を行う事業。



ポスターコンクールの実施

児童、生徒の自然や緑への関心を高めるために、ポスター原画コンクールを開催し、優秀作品を表彰。

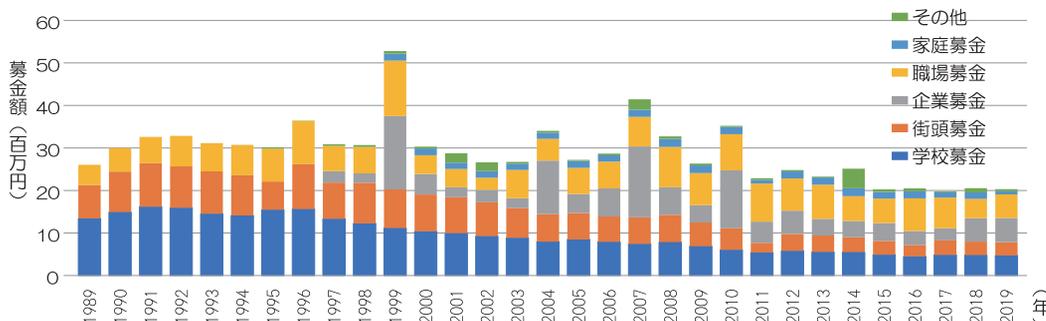


緑化活動交付金

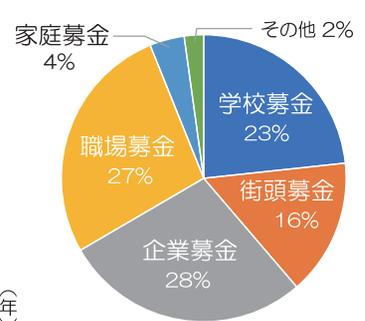
募金活動に協力した団体による緑化を推進するため、当該団体の申請により募金額の一部を緑化事業等交付金として交付。

2019年は、20,316,840円の募金をお寄せいただきました。

〈大阪の緑の募金の推移〉



〈2019年度の緑の募金実績の内訳〉



緑の募金はこのように

Close-up

「学校に森林と木の香りを」整備事業

次世代を担う子どもたちが、森林の整備、木材の利用、緑のすばらしさや大切さについて理解を深めることを目的に、教育施設の木質化や森林に関する学習の実施に助成するものです。2019年度に行われた事業をご紹介します。

八尾市立亀井中学校

令和元年度に卒業する39期生の卒業制作として、第3学年生徒が文字板を彫刻し、「校歌額」を作成しました。あたたかみの感じられる素晴らしい校歌額が完成し、母校を大切に思う気持ちを後輩たちに伝えることができました。



国産のカツラ材の板に文字を転写し、彫刻刀で彫り出し、やすりをかけ、色を塗り、ニスを塗り、枠に板を貼り付けます。背中からは、さながら職人のような雰囲気を感じられました。



できあがった校歌額。

貝塚市立津田小学校

木の温もりを感じ国産材を使うことの意義を知ってもらおうと、図書館に大阪産スギ材のラックやイスを配置しました。また、NPO法人木育フォーラム理事長の米地徳行さんを講師に迎え、6年生32名が日本の森林の現状のお話や国内木製品を使用することが持続可能な社会を目指した活動であることなどを学び、自身がこれからどんなことができるのか考えました。



絵本コーナーに設置した国産材を使用した本棚。木の温もりを感じながら学習しています。



授業では、クイズや樹木名を当てるゲームアクティビティやワークショップなどを行いました。

蓮美幼児学園 千里丘北ナーサリー

森に対する興味関心を持ち、食育にも繋げることを目的に、日々シイタケの成長を観察できるように、園児たちから見える場所にホダ木を28本並べた「しいたけランド」を作りました。NPO法人すいた体験活動クラブのメンバーが協力してくださいました。あわせて、園児や保護者がきのこのことが学べるよう、絵本の部屋に「きのこの絵本」を配置しました。



園舎の一画に登場した「しいたけランド」。



実物のシイタケやホダ木を見ながら、お話を聞きました。

緑の募金にご協力いただきありがとうございます。

緑の募金は、さまざまな有益な働きを持つ森林やみどりを私たちの共通の財産として守り育てるため、一人ひとりがそれぞれの立場で、可能な方法で、参加することを期待して始められました。

近年、緑の募金は減少傾向にあります。今年度はコロナウイルスの影響で、春期の学校募金・街頭募金が中止・延期となり、今後、秋期キャンペーンや年間を通じて行われる各種募金活動も影響を受ける可能性が高く、今年度の募金額の大幅な減少が予測されます。みどりの未来を担う子どもたちへの助成・森林環境教育推進等が途切れないよう、引き続き事業を進めていくために、緑の募金のお取組み・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

緑の募金へのご協力は、こちらへ

■ ゆうちょ銀行

【加入者名】(公財)大阪みどりのトラスト協会 緑の募金
【店名】〇九九店(ゼロキュウキュウ店) 【口座番号】(当座)0101846
(口座の記号番号:00910-4-101846)

スマホから「緑の募金」

クレジットカードで募金できます



SoftBank Docomo+au他

【お詫びとお知らせ】会報誌「みどりのトラスト」の発行について

今年度の会報誌は3回発行を予定しておりましたが、年度当初からのコロナウイルス感染症拡大防止によるイベントの中止や募金活動の中止・延期等の影響により、大幅な減収が見込まれるため、会報誌の発行を当初の予定より1回少なく、今号102号と、103号(12月末発行)の2回に変更いたします。また、来年度は年1回のペースで発行を続けます。順次、ホームページを中心に、皆さまへの情報発信の充実を図ってまいります。

大阪の大切なみどり、自然を守りたい！みなさまのご支援は、大阪みどりのトラスト協会の大切な活動資源です。みなさまと共に、今ある大阪のかけがえのない自然環境を次世代に引き継ぎ、みどり豊かな大阪の未来を創っていく取組みに、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

入会のご案内

活動を支援して下さる会員を募集しています。あなたの会費で、大阪の貴重な自然環境の保全をします。

会費は、年度会費となります。入会申し込みいただくと会員として登録し、会員証を発行いたします。(入会金は不要。毎年4月が更新月となります。)



【年度会費】個人 1口 3,000円～
企業・団体 1口 10,000円～

【会員特典】・会報誌をお届けします。
・協会主催のイベント等の割引 ・協定施設の優待割引



寄付のお願い

事業を進めるためのご寄付を募っています。

協会へのご寄付、ご入会は、下記の口座にて承っております。



ゆうちょ銀行 (記号番号: 00910-5-140157)
〇九九店(ゼロキウキウ店) (当座) 0140157
(加入者名) 公益財団法人大阪みどりのトラスト協会

郵便局の払込取扱票に、お名前・ご連絡先を明記の上、上記口座へお願いいたします。(ご入会の場合は、「入会希望」とご記入ください。)

遺言による寄付(遺贈)や、相続に関する寄付も承っております。

緑の募金

書き損じハガキなど、不要になった物品の寄付は「緑の募金」の支援方法のひとつです。

あなたの家に眠っている「お宝」で、大阪の緑づくりをご支援ください！



◆どんなものを送ればいいのか？

トラスト協会ホームページ「募金をする」のチラシをご覧ください。

⇒ <http://www.ogtrust.jp/midori/about/fundraising.html>

◆ゆうパック(日本郵政)の着払いでお送りください。
※イベント時の持参、協会への持ち込みもOKです。



(注)寄付物品はトラスト協会ではなく、直接下記の「お宝エイド受付センター」住所へお送りください。

※着払い伝票の品名に、必ず「大阪 緑の募金」とお書きください。

【送り先】〒153-0063
東京都世田谷区大原2-23-17-1F お買取屋さん 東京本店内
お宝エイド 受付センター東京 ☎ 03-6265-7595

※その他の緑の募金協力方法は、P13をご覧ください。

※協会への寄付金・緑の募金は、所得控除や税額控除など、税制上の軽減措置を受けることができます。詳しくは、ホームページをご覧ください。

募集しています！

みどりを守る活動にご参加ください。

自然が好きな方、身体を動かしたい方、環境のために何かやってみたい方、まずは是非一度、お近くの活動地やイベントに来てみてください。

- 府内にある活動地で実際に作業や調査を一緒に行い、貴重な自然環境や里山、そこに住む動植物などを守っていただける方
- 次世代を担う子どもたちに自然体験学習や自然環境学習を提供し、みどりのトラスト運動の普及・啓発をしていただける方
- イベントなどで自然素材を使ったクラフトの講師をしていただき、広く府民の方々に自然や緑の大切さを伝えてくださる方

「みどりのトラスト」
募集中！

協会事務所のお手伝いをしていただける方を募集しています。

わいわい、楽しく進めていきたいと考えています。関心のある方は、トラスト協会までお電話ください。またはメールでご連絡下さい。お待ちしております！！

■ 会報「みどりのトラスト」第103号の発送作業のお手伝い

【日時】12月16日(水)・17日(木) 13:00～
(どちらか1日でもOKです。)

【場所】大阪みどりのトラスト協会 事務所

※交通費実費支給



～ みどりの未来を私たちの手で～

公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会

<http://www.ogtrust.jp/>

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATCビル ITM 棟 11F 西
電話：06-6614-6688 FAX：06-6614-6689 E-mail：midori@ogtrust.jp

facebookで、
協会の活動を
発信中。

「いいね！」
シェアお願いします！



Instagram

はじめました。



OSAKA.GREEN.TRUST